

親は、子

そだち

そだち

kosodachi ha oyasodachi

- 子育て支援のインフルエンサー -

赤松邦子流

“しあわせ親”のススメ



【イケダン講座】
 イケてる男性、
 旦那をめざして。
 家族・仕事・自分の時間・ワーク
 ライフバランスについて。



【夫婦の
 パートナリシップ講座】
 夫 婦 の 距 離 を
 感 じ る あ な た へ
 男脳・女脳の違いや
 特質を知って、ステキな
 関係をつくりましょう。



【大切な気持ち講座】
 あなたにもわたしにも
 表面に出るのは二次感情。
 その奥にある本当の
 一次感情に気づきましょう。
 気持ちを伝える「イメージセッション」の
 使い方について。



【子育て講座】
 子育てママ、
 パパへ
 子どもの年齢発達に合わせた
 上手な関わり方について。

気づいたときが変わりどき

子育てのノウハウを学ぶだけではなく
 自分がどう生きたいのかの「人生の棚卸し」をしてみる。
 「自分がどんな人なのか」を知り「自分軸を持つ」こと。
 これらの気づきを得て「しあわせ親」になるお手伝いをする講座です。



【つながり遊び講座】
 親子、家族、
 子育て仲間をつなぐ
 おとなも子どもも
 遊びを通して
 “つながって生きる”
 大切さを知る。
 人は人の中で育ちます。



【子育て支援講座】
 支援をする人へ
 祖父母や地域の支援者が、
 親が親となる
 支援の在り方について
 学びます。



【働くママの準備講座】
 いずれは働きたい
 その時が来たら、
 夫は？ 子どもは？
 シミュレーションと
 実践の準備が大切です。

その他、どんなテーマをいただいても
 体験型・交流型の勇気づけエンパワメント講座
 としてお届けします。
 小グループで意見を出し合い、
 気づきを深めるグループセッションが得意です。
 講演型よりは参加者の満足度もかなり高いです。
 講師も参加者も互いに支えあう関係にもなります。



お問合せ



Kuniko Akamatsu

History

1959

長女として誕生

2年後双子の弟が生まれ幼少の頃より弟たちの世話をよくしていた。(実母談)

1983

高校生の時より、 交際を続けてきた夫と結婚



1996

平群町行政の育児サークルにボランティアで関わる

行政事業ではあるが参加者が自主主体的に活動できる仕掛け作りをした。市民と行政の協働事業として注目を浴びる。活動報告講演やバナーの依頼が多数。

1998

子育て支援グループ 「へぐりCO育てネット」 を創り代表に



母親たちのつぶやきを聞き逃さず、公共性・公益性を持たせて「こんなあったらいいな。無いならつくっちゃおう!」と市民目線の事業を展開。

- ・ 託児グループを立ち上げ小学校授業参観時の託児
- ・ ママのためのおしゃべりティーサロン
- ・ 保健師に協力し、中学校1年生の授業に「赤ちゃんふれあい体験」を企画、町内の母子30組を「先生」として中学校につなぎ、授業は成功。現在も続く。
- ・ 奈良県子育て支援体制検討委員会や奈良県次世代育成支援行動計画策定委員として事業計画に関わる。

2005

奈良県こども・子育て応援県民会議 「なら子育て応援団」 団長拝命中



2006

親教育プログラムに出会い、 ファシリテーターの資格取得 *現在の講座スタイルの礎となる。

2008

任意団体 「パパちから応援隊」を 始動させ、父親支援にも 務める



パパになってすぐに赤ちゃんに参加する「パパセミナー赤ちゃんとお遊ぼう」を確立。民間助成金獲得。取材依頼があり多くのコラムや寄稿をしました。

2013

JMECA 認定 結婚教育サポーター資格取得

1980

大阪市内の 私立幼稚園に勤務



1987

長女誕生

1990

次女誕生



二人の子育ては想像以上にキツかった。自治会内の公園で出会う親子と毎日のように交流。仲間に救われ、しんどさが軽減。雨の日は我が家に招いて、自然と名もなきサークルのリーダーに。父親たちも巻き込んで8組ほどの家族で毎年、キャンプやスキーに。小学校の参観日には下のお子さんを自宅で預かることも。子連れで婦人検診を受け、その大変さを痛感し自治体に検診時の託児をつけてもらうことを実現させる。
*現在の子育て支援への思いにつながる。

1999

平群町公民館教室にて企画を任せられ「親子であそぼ・まなぼ」 講座講師となる 入園前親子教室「このゆびとまれ」主宰

2000

娘たちが思春期になり、いじめ問題や不登校問題に直面し、母親として悩みも多かった。子育て方法の違いから夫ともうまくコミュニケーションがとれずにしんどかった時期。

2001

奈良県 「あなたが考える男女共同参画」 作品エッセーの部 優秀賞

*この頃、今のような知識があれば、夫や娘たちとももう少しうまく関係を築けたかと自責の念が現在の講師活動力に。

優秀 赤松 邦子 42歳
平群町
女友達にグチりました。カンセーにも話しました。書かないとは言わないけれどある時、気づいて叫んでいました。「本当に聴いてほしいのよ!」夫へあなたなのよ!

2010

全国で15人の 第32回母子保健奨励賞を 受賞。

併せて毎日新聞社賞も。報奨として皇居内欄の機会を得て皇太子徳仁親王より対面にてお言葉を拝受する。



2014.4

NPO法人「パパちから応援隊」代表に

Contact



t e l 090-5468-5243

mail ktmy0725@nike.eonet.ne.jp

Design: 森野ゆかり
(株) Women's Future Center